

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-097536

(43)Date of publication of application : 03.04.2003

(51)Int. Cl.

F16B 47/00

(21)Application number : 2001-288071

(71)Applicant : YOKOYAMA SEISAKUSHO:KK

(22)Date of filing : 21.09.2001

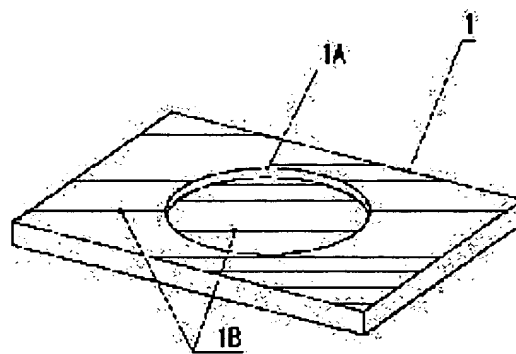
(72)Inventor : KOKUBO TATSUO

(54) **MAGNET SHEET**

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To increase magnetic force, which is increased/decreased with the thickness of a magnet sheet, without changing the thickness of the sheet.

SOLUTION: The magnet sheet 1 has a recessed portion 1A provided on a magnetic surface 1B.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application]

converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-97536
(P2003-97536A)

(43) 公開日 平成15年4月3日(2003.4.3)

(51) Int.Cl.⁷
F 1 6 B 47/00

識別記号

F I
F 1 6 B 47/00

データベース(参考)
H 3 J 0 3 8

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2001-288071(P2001-288071)

(22) 出願日 平成13年9月21日(2001.9.21)

(71) 出願人 594063533

株式会社横山製作所

愛知県名古屋市瑞穂区白羽根町一丁目5番地

(72) 発明者 小久保 辰男

愛知県名古屋市守山区川宮町207 株式会社横山製作所(内)

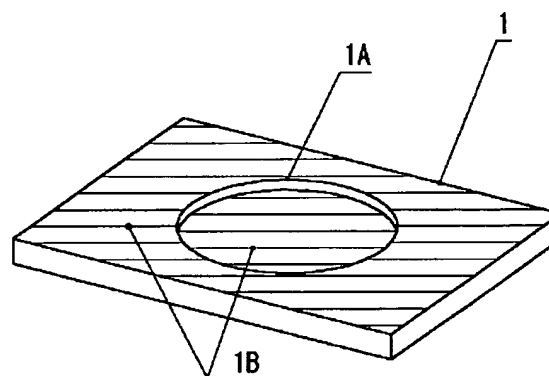
Fターム(参考) 3J038 AA02 CA13

(54) 【発明の名称】 マグネットシート

(57) 【要約】

【課題】 着磁力はマグネットシートの厚みにより増減である。そこで、この発明は、シートの厚みを替えることなく着磁力を増することを課題とする。

【解決手段】 マグネットシート1の着磁面1Bに凹部1Aを設けた。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 凹部を設けたことを特徴とするマグネットシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、マグネットシートを使用する際の着磁力を増す技術に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のマグネットシートは、主に熱硬化型ゴムにフェライトを混合した一定の厚みのシートものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、以上の従来技術によれば、着磁力はマグネットシートの厚みにより増減である。そこで、この発明は、シートの厚みを替えることなく着磁力を増すことを課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 以上の課題を解決するために、請求項 1 の発明は、凹部を設けたことを特徴とするマグネットシートである。

【0005】

【発明の実施の形態】 この発明の一実施形態を、図 1 に示す。

【0006】 図 2 に示すマグネットシート 1 は、着磁面 1 B に吸着（吸盤効果）をえる凹部 1 A を設けている。

【0007】 図 3 に示す穴明きのシート 2 は、マグネットシート 1 に接着して吸着（吸盤効果）をえる。

【0008】

【実施例】 この実施形態によれば、マグネットシート 1 は、着磁面 1 B に凹部 1 A を設けているため、吸着力

（吸盤効果）で、着磁力が増したようになる。

【0009】 「他の実施形態」 マグネットシート 1 に凹部 1 A を設けなくても、シート 2 を設けても良い。

【0010】 マグネットシート 1 と凹部 1 A とシート 2 の形状は円形・三角形・台形・異形でも良い。

【0011】 凹部 1 A とくり抜き 2 A の数量は 2 個以上でも良い。

【0012】

【発明の効果】 以上説明したように、この発明によれば、着磁力／吸着力が増すため、マグネットシート 1 の厚みを薄くすることができ、コストダウンができるという効果がある。

【0013】

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の一実施形態を示す斜視図である。

【図 2】 マグネットシート 1 の着磁面 1 B の凹部 1 A を示す斜視図である。

【図 3】 マグネットシート 1 とシート 2 を示す斜視図である。

【図 4】 マグネットシート 1 を示す断面図である。

【図 5】 従来技術のマグネットシートを示す斜視図である。

【0014】

【符号の説明】

1. マグネットシート

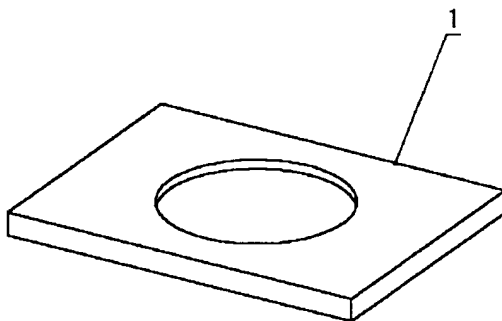
1 A. 凹部

1 B. 着磁面

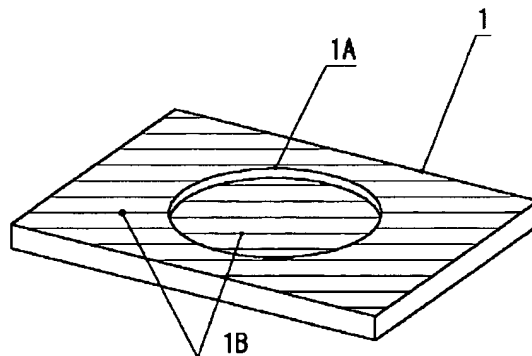
2. シート

2 A. くり抜き部

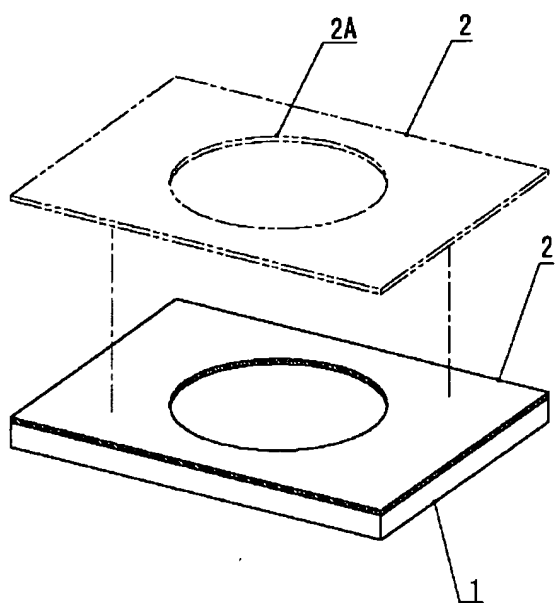
【図 1】



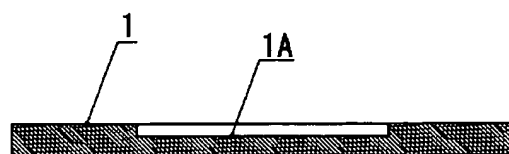
【図 2】



【図3】



【図4】



【図5】

